

業務名	令和5年度 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプト等検討業務委託
会議名	第1回 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプト等検討委員会
日時/場所	令和5年10月5日(木) 10:30~12:00 / 沼津市 水道部庁舎 1階会議室
出席者	<事務局> 沼津市 生活環境部 新中間処理施設整備室 : 杉本主任、廣瀬副主任 (SJ) <検討委員> 武蔵野大学工学部建築デザイン学科教授 : 水谷委員 (MK) 沼津市 政策推進部 政策企画課 : 室伏委員 (SK) 沼津市 産業振興部 ウィズスポーツ課 : 武田委員 (WS) 沼津市 生活環境部 新中間処理施設整備室 : 江藤委員長 (SS) 沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 : 植松委員 (MS) 沼津市 都市計画部 まちづくり指導課 : 伊藤委員 (MD) 沼津市 都市計画部 市街地整備課 : 北條副委員長 (SB) 沼津市 建設部 建設デザイン調整室 : 鈴木委員 (KD) <業務委託受託者> 株式会社日建設計 : 高津、古賀、高部 (NS)
送付先	沼津市 生活環境部 新中間処理施設整備室

【提出資料】

- ・資料0 次第
- ・資料1 ① 委員名簿
- ・資料2 ② 検討委員会設置要綱
- ・資料3 ③ 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプトの大方針について
- ・資料4 ④ アンケート調査報告書
- ・資料5 ⑤ アンケート調査報告書[別紙：自由記述一覧]
- ・資料6 ⑥ [参考]アンケート調査 配布資料
- ・資料7 ⑦ 今後のスケジュール

1. 開会

- ・ 事務局より開会の挨拶がされた。
- ・ 事務局メンバー及び検討委員会委員より自己紹介がされた。
- ・ 事務局より資料確認がされた。

2. 委員会設置要綱、委員長及び副委員長の互選

- ・ 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプト等検討委員会設置要綱第4条第1項の規定により、委員長及び副委員長は、それぞれ委員の互選により選出するものと定められている。自薦・他薦等の意見ある方はいるだろうか。(SJ)
- ・ 委員長に江藤室長を推薦する。(MS)
→ 異議なし。(一同)
- ・ 副委員長に北条課長を推薦する。(SS)
→ 異議なし。(一同)

3. 協議事項（基本コンセプトの大方針に関する意見交換）

- ・ 新中間処理施設の基本方針及び新屋内温水プールの基本コンセプトに共通する考え方である [市民に開かれた、人と人とが交流できる施設にする] に、沼津市の上位計画から抽出した [地域資源の活用] [テクノロジー] [子ども] というキーワードをそれぞれ掛け合わせ、3つのコンセプト大方針（案）を策定した。3案に対してアンケート調査を実施したところ、[ヒト・コトとの関わりを通じて、子どもから大人まで成長できるエリア] という案が、約 38% と最も票を得たが、いずれの案もおおよそ 25% 以上と得票数が高く、極端に支持が得られなかった案はないことから、どれか一つに絞るという方法ではなく、3案全てを柱とした上で、基本コンセプトの大方針を策定することとした。本日は、策定した大方針（案）7案に対して、皆様のご意見をいただきたい。(NS)
- ・ 本日の検討委員会の会議録、配布資料等は、市の HP へ公開する予定である。(SJ)
- ・ [つなぐ] [むすぶ] [コネクト] 等のキーワードは、市民の行動があつて結果的についてくるものであるため、あまりコンセプトとしてはふさわしくない。市民がこのコンセプトを見たときに、整備エリアに「行きたい」と思ってもらえる言葉にしたいので、具体的に市民のどういった行動を誘引したいのか、を表現したコンセプトが望ましい。(MS)
- ・ 基本コンセプトの柱に記載された [沼津を巡る] とは何を意図しているのか。(MK)

→ この整備エリアがサイクリングやハイキング、ウォーキング等で沼津を廻る拠点になってほしいという思いを込めている。(SJ)
- ・ 案③童謡の「むすんで、拓いて」は沼津にゆかりがあるのか。(MK)

→ 特にない。(SJ)
- ・ 整備エリアの基本コンセプトが、案⑤・⑥・⑦にあるような「〇〇パーク」や「〇〇ポート」と記載されていると、今後定めていく新ごみ焼却施設や新屋内温水プールの名称と混同してしまうのでは。(MD)

→ 本日提示をしている基本コンセプトの大方針（案）の下には、3本の柱も据えているので、イメージとして伝わると考えている。基本コンセプトの大方針は、ひとことでこの場所のイメージが直感的に伝わる言葉にしたいと考えている。(NS)
- ・ 本日の検討委員会にてコンセプトの大方針（案）を一つに絞り込むとして、絞り込んだ案に対し、市民意見を聞かずに確定してよいかは議論が必要。(SB)

→ 今後市民意見をどのように大方針策定に反映させていくイメージか。(MD)

- これまでの検討経緯でも説明があった通り、各基本コンセプトの大方針（案）を策定する際に、市民アンケートの投票結果や自由記述の内容を材料とし、その結果を踏まえて策定している。なお、今後、新ごみ焼却施設や新屋内温水プールの施設名称を定めるにあたっては、市民公募を実施する予定である。(SJ)
- ・ 案①～④は、説明を聞かない限り意味が伝わらない。(WS)
- ・ 案⑤は新ごみ焼却施設のイメージに寄りすぎており、整備エリア全体を表すコンセプトとして採用するのは難しい。(SK)
- ・ 案⑦のリサパは施設名として採用するには適してかるもしれないが、整備エリア全体を表すにはふさわしくない。(SB)
- ・ 「サステナブル」という言葉は、流行り言葉として多くの施設でコンセプトとして使用されているが、竣工時の6～7年後を見据えたときに廃れている可能性も考慮する必要はある。一方で「リサイクル」という言葉は、他の施設・エリアでも一般に使われている言葉であるが、普遍的で時代に左右されない言葉であるため、流行り言葉を使うか、一般的に使用されている言葉を使うかについては、よく議論が必要である。(SB)
- ・ 武蔵野クリーンセンターは、今回のように大方針のようなものは定めていない。隣接した建物につけた武蔵野エコリゾートという名称は、ワークショップ等を踏まえて決定している。建物デザインに関しては、日建設計が作成した案に対して協議会で諮るという方針をとっており、「どこから見ても顔が変わる」というキーワードを軸に、横から見た時と正面から見た時で見え方が変わるよう、ルーバーを壁面に施すデザインとしている。(NS・MK)
- ・ 説明を補足する必要はあるが、視覚的なインパクト等では、案②が最も良い。「。」ではなく「！」等でインパクトの補強をするという選択肢もある。(MS)
 - 案①、③～⑦は、他の施設コンセプト等で良く見かけるので、あまり好ましくない。少し説明を付け加えた案②を軸に据えるということで良いと考える。案②と案⑥の組み合わせは相性が良いのでは。(MK)
 - 同様の意見で、案② [ワとワとワ] と案⑥の [re-cycle park] 及び3つの輪のイメージ図を組み合わせることで市民にとっても伝わりやすいコンセプトになるのではないかと。(WS)
 - 組み合わせ方の検討は必要だが、方針として問題はないかと思われる。案②と案⑥をベースに改めてデザインを検討し、委員の皆様に対しては、後日メール等で共有させていただく。(SJ)

- ・ 今後本コンセプトを市民へ公表していく媒体やタイミングについては、十分に検討する必要がある。(MS)
 - 今後新中間処理施設だけではなく、その後も続く新屋内温水プールの整備を行うにあたり、検討が行き詰った際に立ち返ることができるコンセプトにしたいと考えている。その他の使い方として、他事例においては、建物の竣工前から施設 HP 等を公開し、建物コンセプトや工事進捗を定期的に市民へ報告することで、エリアのイメージを事前に共有するということがある。(NS)
 - 公表の媒体やタイミング等については検討させていただく。(SJ)

4. 今後のスケジュールについて

- ・ 本日検討いただいた基本コンセプトの大方針をベースに、導入機能及び景観デザインの骨子、ゾーニングプランを検討し、11月末を目途に、第2回の検討会を開催したいと考えている。その後、パース図を作成し、1月頃の第3回検討会でゾーニングプラン及びパース図を提示する予定である。(NS)
- ・ 本日、委員の皆様よりいただいたご意見を踏まえ、当室にて基本コンセプトの大方針の検討を行うが、その結果については、再び検討会に図るのではなく、個別にメール等にて展開させていただく。(SJ)
 - 検討会の開催に当たっては、少し早い段階で資料を事前展開していただくことをお願いしたい。(MS)
- ・ 今年度の最終目標としては何を想定しているか。(MD)
 - パース図を作成し、公表することである。(SJ)

5. 連絡事項

- ・ 本日の検討委員会における検討内容については、本市の方針とさせていただきたいため、各課の課長まで情報共有をお願いしたい。ウィズスポーツ課につきましては、温水プールの整備方針へ直接関係してくるものであるため、部長を含めて情報共有をお願いしたい。(SJ)
- ・ 検討委員会の開催後には、当室で4役へ報告を行い、段階的に方針を決定するものとし、最終的には報告書として取りまとめ、市長決裁の後、外部へ公表する予定である。(SJ)
- ・ 本日を除き残り2回の検討会開催を予定しており、次回開催は11月下旬を予定している。(SJ)

6. 閉会